

2019 年度 10 月野鳥と自然観察会 報告

日 時	2019 年 10 月 26 日 9 時 30 分～12 時 20 分		記録者 北浦きし子	
探鳥地	菊水山			
参加人数	在校生 14 名	堀池顧問・豊辺顧問	総計 16 名	天候：晴れ
観察コース	神鉄鈴蘭台駅⇄菊水山山頂			
観察概要	<p>菊水山の観察会に強力な助っ人が来られました。 堀池顧問よりグループわ野鳥の会の方、2 名のご紹介がありました。 神鉄の線路沿いに菊水山へ向かって歩き線路が川をまたぐところで、ハクセキレイ、セグロセキレイ、キセキレイのセキレイ 3 種が見られた。 同じ場所で 3 種見られたのは幸先が良い。 セキレイの仲間の特徴は尾羽を上下に動かしながら動き回る。 菊水山の車止めの入口で、堀池顧問より本日の観察会のポイントの説明を聞く。</p> <p>カラスザンショウの実を食べに来る野鳥は、オオルリ、キジバト、キビタキ、コゲラ、ムギマキ、ムシクイ類など。 キジバトが入ると、身体が大きいので、他の野鳥は退散する。 キビタキの雄の眉班は黄色、ムギマキの雄の眉班は白色、ムギマキの若雄はムギマキの雌に似る、説明を聴きながら、判別できるだろうか、と眉間にしわが寄る。</p> <p>ムギマキは 3 年位で成鳥になる。ムギマキの名前の由来は、麦を播く頃に日本に渡ってくるから。例年とは違う観察場所でたくさんのムギマキを観ることができた、と堀池顧問が興奮気味に話される。 ムギマキは下からカラスザンショウの実を食べに入る。 ホバリングも見られた。 目視と双眼鏡を覗くのに忙しい観察会でした。</p> <p>観た鳥：イソヒヨドリ、ウグイス、キジバト、キセキレイ、キビタキ、コゲラ、シジュウカラ、スズメ、セグロセキレイ、トビ、ハクセキレイ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ヒヨドリ、ムギマキ、メジロ、ヤマガラ。 鳴き声のみ：アオゲラ、ジョウビタキ、モズ。 合計 20 種。</p>			
次回以降の予定	11 月 10 日（日）9：30 神戸市立森林植物園。下見会はありません。			



キビタキの雄とムギマキの雄の違いは眉班の色が違う。



僕はムギマキの雄、それとも雌、どっちだ？